

有松先生へのQ&A

1	Q	ケア会議の中で、先生の、机の上に、少し、いろんなグッズが、置いてありました。事前に用意されて、会議に出席されているのですか？
	A	現地開催時は色んなグッズを持参し、必要に応じて活用していました。歯ブラシや義歯グッズを使うと具体的な助言に繋がりがやすいとおもいます。
2	Q	ケア会議をするにあたってたくさんの質問が頭の中で沢山出てくると思いますが、何を基準にして質問を選択していますか？
	A	まずはケアマネさんが課題と感じていることをおさえた上で、歯科や口腔領域と関連している質問を2つ程度するようにします。その際「課題は〇〇ですが、関連する質問をさせてください」と添えると効果的です。聞きたいことはいっぱいになりますが、優先順位をつけることも大切です。
3	Q	本日は研修会を開いていただきありがとうございました。今自分は子育て、歯科衛生士としての仕事と日々バタバタで正直気持ちの余裕がありません。しかし、有松先生の歯科衛生士としての行政での活躍をみてあこがれを抱きました。質問ではないのですが、また公演などあればぜひ聞かせて頂きたいと思いました。
	A	私まで活力を頂けるコメントをありがとうございます。地域ケア会議が始まった当初は「この会議に歯科衛生士は必要な職種なのだろうか」と感じながらでしたが、年月がたてばたつ程、歯や口腔の健康があってこそ、心身の健康があるのだと確信しています。歯科衛生士の力の見せどころですね。また、お目にかかる時を楽しみにしていますので、是非お声かけください。
4	Q	今回は、参加したことがないケア会議の雰囲気を感じる事ができ大変勉強になりました。臨床での指導に活かせるように、患者さんの生活背景もさらにお聞きしていきたいと思いました。ありがとうございました。
	A	こちらこそご参加ありがとうございました。歯科衛生士は臨床の場においても、気づかないうちに生活背景に配慮して患者さんに対峙している職種です。患者さんや地域の方々の暮らしを支える専門職として更なる活躍を期待しています。
5	Q	今日はありがとうございました。地域ケア会議で質問や発言をする中で、ご自身が最優先に考えることは何ですか。
	A	「ケアプランの先にいらっしゃる方が自分の家族だったら」と考えるようにしています。例えば、久しぶりに帰省したら、家族が何度も転倒している現状を知った時にどう声かけするか…歯磨きからではないかな…と。優先順位をつけることで、歯科衛生士の助言に耳を傾けて頂ける気運は醸成しますので一緒に頑張りましょう。
6	Q	ありがとうございました。利用事業所の参加もありより日常に取り入れやすいと思いました。また体力測定の話が事業所さんに出ていましたが、大分県ではどこの事業所さんも体力測定をされているもののでしょうか？必要な方だけでしょうか？
	A	大分県では事業所の体力測定は当たり前になっています。記載がないとりハ職から質問があり、事業所としての姿勢が問われるからです。歯科衛生士も標準値を知っているとよいと思いますので、分かりやすい参考資料を添付します。ご確認頂ければ幸いです。 https://www.pref.oita.jp/uploaded/life/2026200_2175837_misc.pdf
7	Q	歯科受診の必要性は相談者の方にも理解して貰えますが、どうしても歯科受診に繋がらない事が多く、どんなお声掛けをしたら歯科受診をした貰えますか？って質問があります。どうお答えしたら良いでしょうか。
	A	悩ましいところですね。行かない方へのフォローアップ（食材の提供等）もありだとは思いますが、只、歯科衛生士の日本は欧米の先進国に比べ、歯科健診や予防的メインテナンスの意識は低い国です。全身疾患との関連が明確になり、国民皆歯科健診が国策となった今、推進されるべき目標であることは間違いありません。まずは地域ケア会議の参加者に理解して頂き、多くの職種からの声かけが突破口になります（勿論、失敗もありますが…）私たち歯科衛生士が諦めず、上手く賢くお伝えすることが大切だと考えています。